



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き世界につながるまち盛岡～

令和6年10月9日
盛岡市教育委員会
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

企画展「金田一京助の手紙～手紙から伝わる人柄～」の開催について

盛岡てがみ館では、第72回企画展「金田一京助の手紙～手紙から伝わる人柄～」を開催します。

令和6年(2024)は、言語学者・金田一京助が文化勲章を受章してから70年にあたります。この展示では、京助の生涯や業績、特にその人柄について、書簡などの資料をとおして紹介します。

記

【日 時】 令和6年10月16日(水)から令和7年2月10日(月)
午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

【場 所】 盛岡てがみ館 展示室(プラザおでって6階)

【休館日】 毎月第2火曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)

【入館料】 一般 200円(団体160円) 高校生100円(団体80円) 団体は20名以上
小・中学生及び盛岡市内に住所を有する65歳以上の方は無料
11月3日(日・祝)は文化の日につき、入館料無料

【主 催】 盛岡てがみ館(所管:盛岡市教育委員会)・(公財)盛岡市文化振興事業団

【イベント】 ギャラリートーク

日時 ①令和6年10月31日(木) 午前10時30分～午前11時15分
②令和6年12月14日(土) 午前10時30分～午前11時15分

講師 ①中野 千恵子(盛岡てがみ館主任学芸員)
②紀 修 (盛岡てがみ館館長)

お申し込み ①10月17日(木)、②11月30日(土)いずれも午前10時から電話受け付け
定員10人(先着順)

【添付資料】 第72回企画展チラシ

【問い合わせ先】

(公財)盛岡市文化振興事業団
盛岡てがみ館
担当:主任学芸員 中野(なかの)
TEL:019-604-3302

盛岡てがみ館
第72回
企画展

金田一 京助 の手紙

～手紙から伝わる人柄～

令和6年(2024)は、言語学者・金田一京助が
文化勲章を受章してから70年にあたります。

この展示では、京助の生涯や業績、特にその人柄
について、書簡などの資料をとおして紹介します。

令和6年

10月16日(水)～2月10日(月)

令和7年

写真提供：盛岡市先人記念館

常設展示資料

金田一京助や石川啄木、宮沢賢治など岩手にゆかりのある人々の手紙や原稿を展示

主催 盛岡てがみ館(所管:盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団

盛岡てがみ館

MORIOKA MUSEUM OF LETTERS

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0871

岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10

プラザおでって6階

TEL/FAX (019) 604-3302



- 開館時間／午前9時～午後6時
(ただし入館は午後5時30分まで)
- 休館日／毎月第2火曜日(ただし、祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
- 入館料／一般200円(団体160円)
高校生100円(団体80円)
※団体は20名以上からとなります。
※小・中学生及び盛岡市内に住所を有する65歳以上の方は無料。
※11月3日(日・祝)は文化の日無料開放につき、入館料無料。



地下駐車場有り(有料)

盛岡てがみ館 第72回企画展「金田一京助の手紙 ～手紙から伝わる人柄～」

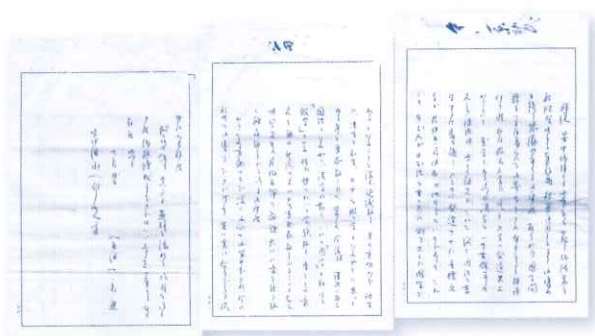
盛岡出身の言語学者・金田一京助(1882～1971)は、アイヌ語研究に尽力し、代表作となる『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』(1931)で高い評価を受けました。また、『明解国語辞典』(三省堂)や国語の教科書編集を手掛けたことでも知られています。

一方、友人である石川啄木を支え続けた人物でもあり、啄木の没後も思い出を語るなど、啄木顕彰にも貢献しました。

この展示では、京助の生涯や業績のほか、面倒見が良く優しい人柄について、手紙などの資料をとおして紹介します。

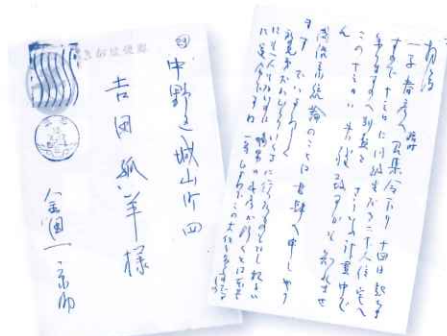


三省堂による文化勲章受章祝賀会
(盛岡市先人記念館提供)



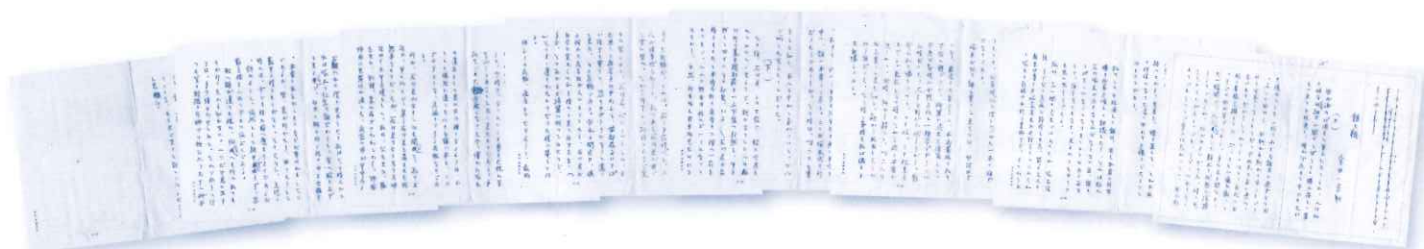
▲金田一京助書簡 富田小一郎あて (昭和19年7月9日)

盛岡中学校時代の恩師である富田小一郎にあてた手紙。自著を読んで褒めてもらったことへのお礼や、国字、片仮名について自身の考えを述べている。



▲金田一京助書簡 吉田孤羊あて (昭和13年4月12日)

長男・春彦に臨時召集令状が下ったことを伝える内容。兄弟、親戚の中で誰も戦地に行っていないのに、「一等ひよわでこの大任を負ふのですもの」という文面から、父親である京助の悲痛さが伝わってくる。



▲金田一京助原稿「錐と瓶」(『東京日日新聞』昭和15年5月29日、30日掲載)

同宿時代に石川啄木が手に入れた錐と花瓶。手元に残った二つの形見をとおして、当時の思い出をつづっている。

関連イベント

●ギャラリートーク(学芸員)

令和6年10月31日(木) 10:30～11:15

お申し込みは令和6年10月17日(木) 10:00から先着に
電話にて受け付け。定員10名。入館料が必要。

●ギャラリートーク(館長)

令和6年12月14日(土) 10:30～11:15

お申し込みは令和6年11月30日(土) 10:00から先着に
電話にて受け付け。定員10名。入館料が必要。

(公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

■盛岡市先人記念館

第70回企画展「在米ジャーナリスト 浅野七之助の軌跡」
令和6年9月14日(土)～12月1日(日)

■原敬記念館

新収蔵資料展

令和6年10月19日(土)～令和7年1月13日(月・祝)

■石川啄木記念館(令和7年3月まで〈予定〉休館中)

移動展示「啄木顕彰のあゆみ」(会場:もりおか啄木・賢治青春館)
令和6年11月1日(金)～12月22日(日)

盛岡てがみ館

MORIOKA MUSEUM OF LETTERS

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0871

岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって6階

TEL/FAX (019)604-3302